

図書館だより

今月の新刊を紹介します。

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：10:00～18:00

休館日：9/4(月)・11(月)・19(火)・25(月)・28(木)

10代のための疲れた体がラクになる本

(長沼睦雄、誠文堂新光社)



「異常は見つからないけどしんどい」それ、脳の炎症です。コロナにより増えている病気や症状を解説。慢性疲労症候群(筋痛性脳脊髄炎)、化学物質過敏症など、病気の基礎知識と実践的な解決法を同時に伝えます。

心眼

(相場英雄、実業之日本社)



街頭に立ち、指名手配犯を炙り出す<見当たり捜査班>。新たに就任した捜査一課長はハイテク捜査を実施、「見当たり捜査班不要論」をぶち上げた。見当たり班の新米刑事・片桐は…。Amazonオーディブル配信を単行本化。

ねぞうプロレス

(ひらぎみつえ、教育画劇)



今夜も「ねぞうプロレス」の時間がやってきました。選手は川の字に寝ている3人の親子。ふとトンネル、ミラクルブリッジ。つぎつぎ繰り出されるキメキメの技！子どものねぞうをプロレスに例えた、笑顔あふれる家族絵本。

図書館がくれた宝物

(ケイト・アルバス、櫛田理恵、徳間書店)



親代わりになってくれる人を探すために疎開した両親のいないきょうだい。疎開先の厳しい日々、3人にとって、村の図書館だけが救いだった。第二次大戦下、ロンドンから疎開したきょうだいの心あたたまる物語。

紹介文：TRC MARC

お知らせ

- ▶テーマ展示「怖い！けど…読みたい」「せすじがゾゾーツ」
- ▶絵本のよみきかせ会 毎週土曜日 午後2時から
- ▶本が貸出中の場合は予約ができます。
- ▶読みたい本が図書館にないときは、リクエストサービスをご利用ください。
- ▶インターネットやスマートフォンから、図書館にある貸出本のタイトルが検索できます。
- ▶図書館にご来館の際は、マイバッグをお持ちください。

歴史探訪

これな〜んだ？

写真の道具は何に使うものかな？

先の方がお椀の形になっていて、木の柄がついています。この形から、水をすくうヒシヤクじゃないかと考える人がいます。

でも、この道具はヒシヤクではありません。

これは「ひのし」という道具です。

先端のお椀の形の部分は、金属でできていて、ここに炭を入れて、その熱で布のしわをのばしたり、仕立ての仕上げに用いたりしました。

ひのしは古代から使われていましたが、明治時代に、海外から炭火を使うアイロンが伝来すると、しだいに使われなくなりました。大正時代以降になると電気が普及し、今と同じ電気アイロンが使われるようになりました。



▲ひのし(9月27日までロビーで展示しています)

『垂井町史』通史編・史料編
タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館
で販売中 各4,000円

ミニ企画展「戦時下のくらし」
9/3(日)